

平成20年度事業報告

財団法人山梨県健康管理事業団

平成20年度事業報告

I 検診・検査事業

1 特定健康診査等

平成20年度よりスタートした、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき各医療保険者（市町村国保、被用者保険）及び広域連合を実施主体とする特定健康診査等を県下13市町村において受託し、40歳から74歳を対象とした特定健診 8,522人、75歳以上の後期高齢の健診 2,786人、39歳以下の若年者の健診 911人合せて 12,219人の一般住民の健診を実施した。前年度の基本健康診査受診者数と比較して 2,246人減少した。

全受診者 12,219人のメタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当 962人（7.9%）、予備軍該当 1,635人（13.5%）、非該当 8,668人（70.9%）、判定不能 936人（7.7%）であった。

特定健診受診者 8,522人の特定保健指導対象者の抽出である階層化（保健指導レベル）の結果は、積極的支援 494人（5.8%）、動機づけ支援 1,423人（16.7%）、なし（情報提供） 6,596人（77.4%）、判定不能 9人（0.1%）であった。

平成19年度（基本健康診査）

市町村数	受診者数	異常を認めず		要指導		要医療	
11	14,462	1,154	8.0%	5,945	41.1%	7,363	50.9%

平成20年度（特定健康診査等 メタボリック判定）

市町村数	受診者数	項 目							
12 (1)	12,219	メタボリック判定							
		基準該当		予備軍該当		非該当		判定不能	
		962	7.9%	1,635	13.5%	8,668	70.9%	936	7.7%
	8,522	階層化（保健指導レベル）判定							
		積極的支援		動機づけ支援		なし（情報提供）		判定不能	
		494	5.8%	1,423	16.7%	6,596	77.4%	9	0.1%

(1) : 甲府市（個別健診）

内容説明

腹囲男性85cm・女性90cm以上：糖尿病（空腹時血糖110mg/dl・HbA1c5.5%以上）

- ・高血圧症（収縮期130mmHgまたは拡張期85mmHg）
- ・高脂血症（中性脂肪150mg/dlまたはHDLコレステロール40mg/dl未満）

メタボリックシンドローム（内蔵脂肪症候群）

腹囲が男性85cm・女性90cm以上で2項目以上該当：メタボを強く疑われる者（基準該当者）

腹囲が男性85cm・女性90cm以上で1項目該当：予備軍該当者

2 胃がん検診

県下18市町村の40歳以上の住民 12,324人、39歳以下の住民、県職員、教職員及び事業所職員等 4,237人、合せて 16,561人の検診を実施し、前年度に比較して 4,083人減少した。

受診者のうち県医師会読影委員会による判定の結果、精密検査を要する者は 2,301人で要精検率 13.9%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受けた者は 1,681人、精検受診率 73.06%であった。

精密検査結果の内訳は、胃がん 18人(発見率0.108%)、胃ポリープ 316人、胃潰瘍 111人、十二指腸潰瘍 24人、胃・十二指腸潰瘍 11人、その他 1,158人、異常なし 197人であった。

	市町村	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)
平成19年度	18	20,644	2,330	11.29	1,725	74.03
平成20年度	18	16,561	2,301	13.90	1,681	73.06
比較増減	0	△4,083	△29	2.61	△44	△0.97

(胃がん検診精密検査結果内訳)

	胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃・十二指腸潰瘍	その他	異常なし
平成19年度	13	349	103	81	26	870	283
平成20年度	18	316	111	24	11	1,158	197
比較増減	5	△33	8	△57	△15	288	△86

	がん発見率(%)
平成19年度	0.063
平成20年度	0.108
比較増減	0.045

3 肺がん検診

県下14市町村の住民 40,947人、県職員及び事業所職員等 3,767人、合せて 44,714人の検診を実施し、前年度に比較して 3,439人減少した。

受診者のうち、精密検査を要する人は 1,247人、要精検率 2.79%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受けた人は 997人、精検受診率 92.31%であり、報告されたがん患者は 22人で、がん発見率は 0.049%であった。

また、喫煙者、希望者等を対象とした喀痰細胞診は 1,699人が受診し、要精検者は 1名で「悪性腫瘍細胞有り」が1人であった。

	市町村	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	がん患者数	がん発見率(%)
平成19年度	14	48,153	1,116	2.32	925	82.90	18	0.037
平成20年度	13(1)	44,714	1,080	2.42	997	92.31	22	0.049
比較増減	0	△3,439	△36	0.1	72	9.41	4	0.012

(喀痰細胞診)

	受診者数	異常認めず	追加検査	要精検者数	精検受診者数	がん発見数	がん発見率(%)
平成19年度	1,999	1,995	2	2	1	1	0.050
平成20年度	1,699	1,697	1	1	1	1	0.059
比較増減	△300	△298	△1	△1	0	0	0.009

4 大腸がん検診

県下13市町村の40歳以上の住民 9,674人、39歳以下の住民及び98事業所の職員 1,410人、合せて 11,084人の検診を実施し、前年度に比較して 247人増加した。

受診者のうち、精密検査を要する者は 609人で要精検率 5.49%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 299人、精検受診率は 49.1%で、精密検査結果の内訳は、大腸がん 13人(発見率0.117%)の他、大腸ポリープ 112人、大腸憩室 63人、その他 31人、異常なし 80人であった。

	市町村	事業所	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)
平成19年度	11	95	10,837	599	5.53	305	50.9
平成20年度	12 (1)	98	11,084	609	5.49	299	49.1
比較増減	2	3	247	10	0.04	△6	△0.18
	がん患者数	がん発見率(%)					
平成19年度	7	0.064					
平成20年度	13	0.117					
比較増減	6	0.053					

(大腸がん検診精密検査結果内訳)

	大腸がん	大腸ポリープ(腺腫)	大腸憩室	痔核・裂肛	その他	異常なし
平成19年度	7	105 (62)	50	26	13	104
平成20年度	13	112	63	0	31	80
比較増減	6	7	13	△26	18	△24

5 乳がん検診

県下12市町村の住民 5,945人、36事業所職員 581人及び冬季限定で実施した一般住民 411人、また がん検診普及啓発による街頭キャンペーンで受診された 9人、合わせて 6,946人(視触診とマンモグラフィ併用 103件、マンモグラフィ 3,644件、超音波検査 2,861件、マンモグラフィと超音波検査併用 338人)の検診を実施し、前年度に比較して 1,278人大幅に増加した。

受診者のうち、精密検査を要する者は 248人、要精検率は 3.58%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 183人、精検受診率 73.8%で、精密検査結果の内訳は、乳がん 6人(発見率0.087%)、乳腺症 38人、線維腺腫 14人、乳腺のう胞 25人、その他 15人、異常なし 92人であった。

	市町村	事業所	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)
平成19年度	10	36	5,668	188	3.51	156	83.0
平成20年度	11 (1)	36	6,946	248	3.58	183	73.8
比較増減	2	0	1,278	60	0.06	27	△9.2

(乳がん検診精密検査結果内訳)

	乳がん	乳腺症	線維腺腫	乳腺のう胞	その他	異常なし	がん発見率(%)
平成19年度	7	35	25	17	31	46	0.124
平成20年度	6	38	14	25	15	92	0.087
比較増減	△1	3	△11	8	△16	46	△0.037

6 超音波検診

肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓等の上腹部臓器の超音波検診は、18市町村住民17,815人及び38事業所の職員1,309人、合せて19,124人の検診を実施し、前年度に比較して4,605人減少した。

受診者のうち、精密検査を要する者は525人、要精検率2.7%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は308人、精検受診率58.7%で、精密検査結果の内訳は、胆のう疾患が120件と最も多く、ついで肝臓疾患75件、腎臓疾患31件、膵臓疾患27件、脾臓疾患2件の順(その他3件)で、異常無しは50件であった。

上記疾患の内、がんと診断されたものは11件(肝臓3、胆のう1、腎臓1、膵臓2、その他4)で、がん発見率は0.062%であった。

	市町村	事業所	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)
平成19年度	18	38	23,729	678	2.86	411	60.6
平成20年度	18	38	19,124	525	2.75	308	58.7
比較増減	0	0	△4,605	△153	△0.11	△103	△1.9

(超音波検診精密検査結果内訳)

	胆のう疾患	肝臓疾患	腎臓疾患	膵臓疾患	脾臓疾患	その他	異常無し
平成19年度	134	111	53	35	4	0	48
平成20年度	120	75	31	27	2	3	50
比較増減	△14	△36	△22	△8	△2	3	2

	が ん						が ん 発見率(%)
	肝臓(転移性含)	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	
平成19年度	7	0	3	0	0	10	0.042
平成20年度	3	1	1	2	4	11	0.062
比較増減	△4	1	△2	2	4	1	0.020

7 骨粗鬆症検診

高齢化社会を迎え、骨粗鬆症に起因する骨折などによる寝たきり老人の発生を未然に防ぐことを目的とした骨粗鬆症予防検診を、8市町村の住民等3,854人の検診を実施し、前年度に比較して219人減少した。

受診者のうち、要指導者は1,553人(40.30%)、要精検者は173人(4.49%)であった。

精密検査を要する者は87人(50.3%)で精密検査の結果は、異常認めず者7人(4.05%)、骨量減少者28人(16.2%)、骨粗鬆症者52人(30.06%)であった。

	市町村	受診者数	要指導者数	(%)	要精検者数	(%)
平成19年度	8	4,073	1,666	40.90	245	6.02
平成20年度	8	3,854	1,553	40.30	173	4.49
比較増減	0	△219	△113	△0.60	△81	△1.53

8 結核検診

結核予防法に基づき、15市町村の住民と高校生、教職員及び県職員等合わせて 64,545 人（間接撮影 57,532人、デジタル撮影 5,187人、直接撮影 1,826人）の検診を実施した。受診者のうち、精密検査を要する者は 555人、要精検率 0.86%であった。

精密検査を受診した者は 359人、精検受診率 64.7%で、発見患者は 4人であった。

	市町村	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者	精検受診率(%)
平成19年度	15	69,745	472	0.68	341	72.25
平成20年度	13 (1)	64,545	555	0.86	359	64.70
比較増減	△1	△5,200	83	0.18	18	△7.55

	発見患者数	患者発見率(%)
平成19年度	1	0.0014
平成20年度	4	0.0062
比較増減	3	0.0048

9 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健法に基づき、県・市町村教職員 3,887人。県・市町村職員（笛吹市 614人、南アルプス市 147人、その他649人）4,286人。県立大学、健康科学大学等の学生 3,236人。民間企業勤務者 5,273人合わせて 16,682人の健診を実施した。

	受診者数
市町村教職員健診	1,771
市町村職員健診	1,410
県教職員健診	2,116
県職員健診	2,876
学生(大学・専門学校)健診	3,236
民間企業健診	5,273
合計	16,682

10 心臓検診

小・中・高校の児童・生徒等 11,607人の心電図検査を実施し、前年度に比較して1,724人減少した。

受診者のうち、精密検査を要する者は 558人で要精検率は 4.81%であった。

また、525人の心音図検査を実施し、要精検者は 46人で要精検率は 8.76%であった。

	心電図検査			心音図検査		
	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
平成19年度	13,331	741	5.56	592	29	4.90
平成20年度	11,607	558	4.81	525	46	8.76
比較増減	△1,724	△183	△0.75	△67	17	3.86

11 寄生虫卵検査

幼稚園、保育所、学校の児童・生徒等 57,072件の検査を実施し、前年度に比較して2,064件減少した。

保卵者は7人（蟯虫7人）で保卵率は0.014%であった。

	実施件数	保卵者	蟯虫	その他の寄生虫卵	保卵率(%)
平成19年度	59,136	15	9	6	0.02
平成20年度	57,072	7	7	0	0.012
比較増減	△2,064	△8	△2	△6	△0.008

12 尿検査

幼稚園・保育所・小・中・高・特殊学校の幼児・児童・生徒及び各学校の教職員等53,478件の第1次検査を実施し、陽性者は1,385人（糖52人、蛋白のみ187人、潜血のみ1,090人、蛋白・潜血56人）で陽性率2.59%であった。

また、第1次検査の陽性者に対して875件の第2次検査を実施し、陽性者は300人（糖13人、蛋白のみ27人、潜血のみ242人、蛋白・潜血18人）で陽性率34.29%であった。

	第1次検査			第2次検査		
	受診者数	陽性者	陽性率(%)	受診者数	陽性者	陽性率(%)
平成19年度	59,475	1,476	2.27	1,214	339	27.92
平成20年度	53,478	1,385	2.59	875	300	34.29
比較増減	△5,997	△91	0.32	△339	△39	6.37

(陽性者内訳)

	第1次検査				第2次検査			
	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血
平成19年度	56	260	1,117	43	15	42	268	15
平成20年度	52	187	1,090	56	13	27	242	18
比較増減	△4	△73	△27	13	△2	△15	△26	3

13 血液貧血検査

中学・高校の生徒等1,522人の検査を実施し、前年度に比較し319人減少した。

検査の結果、軽度異常者は40人(2.63%)で要精検者6人(0.39%)であった。

	受診者数	軽度異常者数	軽度異常率(%)	要精検者数	要精検率(%)
平成19年度	1,841	45	2.44	9	0.49
平成20年度	1,522	40	2.63	6	0.39
比較増減	△319	△5	0.19	△3	△0.10

II 普及啓発活動

1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる、9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発ラジオCM放送と新聞広告の掲載をするとともに、オギノJOYの会場でリーフレットの配布や乳がん検診を行い、また、県下全市町村、医療機関、事業所等にごがん予防知識啓発用ポスター及びリーフレットを配布した。さらに、事業団においても医師によるがん無料相談を行った。

2 結核予防街頭キャンペーンの実施

結核予防週間（9月24日～30日）中に全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、平成20年9月25日に、JR甲府駅構内において、県、県愛育連合婦人会等、関係機関の協力のもと、結核予防普及啓発資料の配布などによる結核予防街頭キャンペーンを実施した。

3 健康づくり相談、簡易健康診断の開設

生活習慣病予防啓発事業の一環として、平成21年2月の生活習慣病予防週間（2月1日～7日）に合わせ、県民情報プラザにおいて、健やか山梨21主催による健康づくり相談、簡易健康診断が開設され、事業団は487人の来場者に対し簡易健康診断を行い生活習慣病の予防に関する知識や実践の普及啓発などに努めた。

4 各種イベントへの参加

県、県中小企業団体中央会等が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、検診車の展示、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを次のとおり実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

(1) 平成20年6月12日（木）

- 事業団・住友生命主催 「乳がんセミナー」
於 アピオ甲府タワー館
・講演会 ・触診モデル体験

(2) 平成20年9月27日（土）

- 県主催、事業団共催 「がん予防展」 於 小瀬スポーツ公園
・がん相談 ・パネル、レントゲンフィルム等の展示

(3) 平成20年9月28日（日）

- 県主催、事業団共催 「がん講演会」 於 アピオ甲府タワー館

(4) 平成20年10月26日（日）

- 山梨まんまくらぶ主催、事業団共催 「山梨乳がん公開講座2008」
於 甲府市総合市民会館山の都アリーナ
・講演会 ・がん相談 ・触診モデル体験

(5) 平成20年11月15日・16日(土・日)

- 県主催「第21回県民の日記念行事」 於 小瀬スポーツ公園
 - ・活力年齢測定
 - ・身障者対応型胸部X線デジタル検診車、マンモグラフィ検診車の展示
 - ・結核、乳がん予防、事業団パンフレット等配布
 - ・健康教育パネルの展示

(6) 平成21年3月9日(日)

- 県中小企業団体中央会主催「中小企業組合まつり2009」
於 アイメッセ山梨
 - ・簡易健康チェック(血圧、骨密度測定、血管年齢・肥満度測定、保健指導等)
 - ・受診者 119人
 - ・結核、乳がん予防、事業団パンフレット等配布
 - ・健康教育パネルの展示

(7) 平成21年3月20日・21日(春分の日・土)

- サンニチYBS主催 事業団後援「子育て応援プロジェクト」
於 アイメッセ山梨
 - ・健康コーナー開設(血管年齢)
 - ・受診者 373人
 - ・事業団パンフレット等配布
 - ・健康教育パネルの展示

5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

6 健康教育用資料の貸出し

がん・結核予防・生活習慣病予防ビデオ、パネル等を健康教育用資料として、市町村並びに関係各機関へ配布、貸出しを行い、がん・結核予防・生活習慣病予防に対する認識と検診の重要性について普及啓発を行った。

7 その他広報資料の配付

事業団発行広報誌「健康管理事業団だより」、(財)結核予防会、(財)日本対がん協会、(財)予防医学事業中央会の各本部発行広報誌「複十字」、「対がん協会報」、「家族と健康」等を広報資料として市町村及び各関係機関等へ配付し、健康に関する知識の普及啓発に努めた。

Ⅲ 研修事業

- 1 当事業団は(財)結核予防会、(財)日本対がん協会、(財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

	名 称	開 催 月 日	参 加 人 員
結核 予 防 会	保健指導システム説明会	5月2日	3人
	永年勤続職員表彰式	5月14日	5人
	臨時全国支部事務局長会議	6月30日	1人
	第13回結核予防関係婦人団体中央講習会	2月18日～19日	2人
	全国支部事務局長総会	2月26日	1人
	全国支部事務局長研修会	2月27日	1人
	診療放射線技師研修会	3月11日～13日	1人
対 が ん 協 会	全国支部事務局長会議	6月16日	1人
	がん征圧全国大会	9月10日～12日	1人
	創立50周年記念式典	11月7日	2人
予 防 医 学 中 央 会	第1回全国運営会議	6月4日	1人
	第1回評議員会	6月17日	1人
	第1回技術運営会議	7月24日～25日	1人
	予防医学事業推進全国大会	10月15日～17日	1人
	全国業務研修会	2月12日～13日	2人
	技術運営会議及び予防医学技術研究集会 評議員会	2月26日～27日 3月10日	1人 1人

- 2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等へ職員を参加させた。

名 称	開 催 月 日	参 加 人 員
全国公益法人協会「ガイドラインの概要と内部諸規定の雛形解説」	7月31日	1人
第15回山梨生化学泉郷セミナー	9月13日	2人
日本臨床細胞学会秋期大会	11月14日～15日	2人
全国公益法人協会「実践簿記会計集中講座」	12月5日	1人
第41回放射線部会総会	2月20日～21日	1人
全国公益法人協会「総合税務対策特別講座」	2月23日	1人

- 3 県内の8つの検診実施機関と山梨大学医学部及び集団検診関連病院で構成する山梨県検診実施機関連絡協議会に参画し、検診の普及啓発、運営及び精度向上の諸課題に取り組んだ。

IV 会議の開催

1 理事会

- (1) 平成20年7月29日 於 ベルクラシック甲府
役員の選任、平成19年度事業報告、一般会計及び救急医療情報システム特別会計決算報告、平成20年度一般会計補正予算(案)等について審議が行われ、可決承認された。
- (2) 平成21年3月24日 於 山梨県医師会館6F会議室
平成21年度事業計画(案)、同一般会計及び救急医療情報システム特別会計収支予算(案)、給料等の規程の改正等について審議が行われ、可決承認された。

2 経営評価委員会

事業団の自主的な運営体制の確立を目的とし、今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を行うため、外部の経営専門家として税理士等3名を構成メンバーとした、経営評価委員会を今年度も平成21年2月5日に開催し、事業団の経営状況及び課題、特定健診受診状況及び新電算システム稼働状況等について説明を行い、委員の方々から今後自主自立の運営上必要な事項等について意見をいただいた。

V 救急医療情報センター運営業務

当センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、適切な医療情報の提供に努めている。

現在、所長以下9名の職員が24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供を行う業務を実施している。

1 業務内容

- (1) 情報の収集業務 (医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集)
- (2) 情報の登録業務 (医療機関や当番医の登録、更新)
- (3) 情報の提供業務 (患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供)
- (4) 各種統計の作成業務

2 年度別案内件数

(件)

年度	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358	7,585	7,133	8,186
年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件数	9,465	11,292	12,940	12,267	12,900	13,844	14,905	15,384	15,109	16,145
										合計
										190,141

3 案内状況

(件)

種 別		平成19年度	平成20年度
救急医療情報センター案内件数		15,109	16,145
受付時間別案内件数	深夜(0時~8時)	2,037	2,190
	日中(9時~17時)	6,644	8,219
	準夜(18時~24時)	6,428	5,736
診療科目別案内件数	内 科	4,435	5,139
	小 児 科	2,417	2,380
	整形外科	1,709	2,036
	外 科	1,579	1,535
	眼 科	1,259	1,287
	耳鼻咽喉科	1,077	1,081
	歯 科	943	876
	脳神経外科	482	565
	皮 膚 科	382	426
	産婦人科	207	182
	泌尿器科	170	150
	精神神経科	70	93
	そ の 他	379	368
計	15,109	16,145	